

第二次スクリーニングの優先度評価結果一覧

地点番号	第一次スクリーニング										第二次スクリーニング計画																			想定被害形態			
	盛土造成地の位置		盛土造成地の規模			大規模盛土造成地の抽出					優先度評価														その他								
	所在地	面積 (㎡)	原地盤面の勾配 (度)		高さ (m)	谷埋め型	腹付け型	現地での確認		大規模盛土造成地の種類	①盛土／擁壁の形状・構造					②変状					③地下水	④盛土の下の不安定土層	⑤造成年代 造成年代	⑥変動確率 方式 1 による変動確率 (%)	特記事項	優先度	保全対象		既存調査結果 (土質・地下水・N値等)				
			面積 3000㎡以上	原地盤面の勾配20度以上かつ高さ5m以上		必要性	結果	のり面勾配	小段間隔		保護工のり面	ひな壇部分の傾斜	擁壁構造	宅地地盤	擁壁	のり面	周辺施設	住宅	公共施設等														
			α	θ																													
1	鬼北町国遠(西部)	19500	4	—	15	○	×	不要	—	谷埋め型	標準	—	標準	—	逆T	該当	無	有	無	無	無	可能性有	無	S51	後	19 数量化Ⅱ類	小	擁壁の一部に6cmのズレと水抜き穴からの出水痕跡あったが、恒常的な湧水はなく直ちに変形等の危険性はない（経過観察）。また、災害発生のおそれが切迫している状況にはなく、対策の緊急性はないと判断した。	B2	53戸	無	なし	変形
2	鬼北町国遠(東部)	5150	15	—	8	○	×	不要	—	谷埋め型	標準	—	標準	—	—	該当	無	無	無	無	無	無	無	S50～S60	後	14 数量化Ⅱ類	小	末端部は法面となり、恒常的湧水や変状はなく、直ちに変形等の危険性はない（経過観察）。盛土上面に住居はなく（末端部に2件）田畑が広がっており、優先度は低いと判断した。また、災害発生のおそれが切迫している状況にはなく、対策の緊急性はないと判断した。	C	2戸	無	なし	変形
—	鬼北町鍵山	10312	44	—	7	×	○	不要	—	腹付け型	—	—	—	—	もたれ	該当	無	無	—	無	無	可能性有	無	S50～S60	後	34	小	擁壁には平成29年にアンカー工と現場打込砕工が施工されており、対策工整備済である。そのため今後の第二次スクリーニング調査をする必要がないと判断した。	B2	18戸	無	盛土材砂質土	崩壊

■第二次スクリーニング調査必要なし